

環状盛土遺構と計画的なムラづくり

# 国史跡 井野長割遺跡

**見学上の注意**  
井野小学校内に立ち入る際には  
学校の承諾を得てください。



大型土坑から出土した注口土器

### お問い合わせ

- 佐倉市教育委員会文化課  
〒285-8501千葉県佐倉市海隣寺町97  
TEL 043-484-6191・6192  
FAX 043-486-9401  
e-mail bunka@city.sakura.lg.jp  
URL <http://www.city.sakura.lg.jp/>
- 公益財団法人印旛都市文化財センター  
〒285-0814 佐倉市春路1-1-4  
TEL043(484)0126  
FAX043(485)9871  
e-mail homepage@inba.or.jp  
URL <http://www.inba.or.jp/>



佐倉市教育委員会

# 国史跡井野長割遺跡

## 環状盛土遺構と計画的なムラづくり

井野長割遺跡は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4,000～3,000年前）に栄えたムラの跡です。

昭和44年（1969）の発見以来、ごく一部を発掘調査したに過ぎませんが、その重要性から平成17年（2005）3月2日に国の史跡に指定されました。まだ多くの謎を秘めています。ここでは縄文時代の盛土遺構を現在でも見ることができます。

雑木林の中に見える土の盛り上がりで囲まれた広場のような「中央窪地」、その中の土の盛り上がり、ムラの中央から外へ放射状に伸びる複数の「道」、そして「道」の起点には、計画的に整備されたムラ。これらの遺構は、私たちに当時の様子を豊かに想像させます。

なぜ、井野長割の縄文人は、この場所に環状盛土を残したのでしょうか。みなさんも一緒に考えてみませんか。

### ① 環状盛土遺構と中央窪地

「環状盛土遺構」は、縄文時代の人々が100年以上の時間をかけて土を盛り、その盛土群が最終段階でドーナツ状に配置されたものと推定されています。現況で最大比高差約2mです。現在の地形と過去の地形測量図等から復元すると、当時の規模は、南北約160m、東西約120mと推定されます。井野長割遺跡では、ドーナツ状に配置された外盛土（M1・2・5・6・7）とその内側の内盛土（M3・4）によって構成されていました。M5～7は、現在では失われています。

「中央窪地」は、環状盛土遺構に囲まれた空間で、ムラの中心に位置する広場と考えられます。この部分の地面を削り取って盛土をしたり、谷を埋め立てたと思われます。広場のような使われ方をしていたのでしょう。

### ② 谷の埋め立て

人々が住み始めたころ東側の斜面には、谷が入り込んでいました。当時の人々は、そこを土で埋め立てました。断面を観察すると、黄褐色土（ほとんどローム土です）を上の方から何度も投げ込んでいた様子がわかりました。



### ③ 子供の墓

南北に伸びる「道」沿いの穴から埋納された1組の縄文土器が出土しました。子供の骨を納めたと思われる深鉢に、台付鉢を使って蓋をしています。

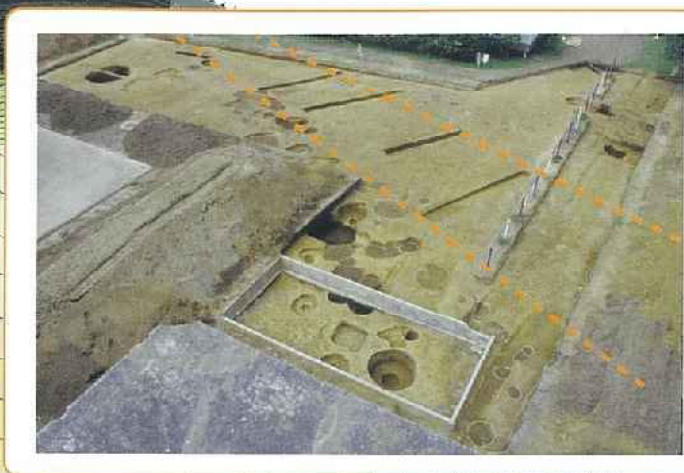


M=盛土遺構 =縄文時代の道の跡 井野長割遺跡環状盛土遺構復元全体図 (既に消滅した部分を復元しています)

## 計画的なムラづくり

遺跡範囲のうち、学校敷地部分は、ほとんどが失われていると思われていました。しかし、平成14・15年度の発掘調査（第7・8次）によって想像以上に遺跡の保存状態が良好なことが判明しました。

「ムラ」の中心から南と北西の谷へ向かって伸びる「道」を基準として、貯蔵、埋葬、居住の土地利用が区分されていました。



### ④ 墓

「道」に沿って墓がありました。縄文土器浅鉢と蛇紋岩製の装飾品が出土しました。



### ⑤ 大型土坑

ムラのはずれに直径約2.8m、深さ3.5m以上（底まで調査していません）の穴がありました。炭化した棒状の木材が発見され、注口土器などがほぼ完全な形で発見されました。



### ⑥ 貯蔵穴

ドングリ等を貯蔵する穴として掘られたと思われます。直径約1～2m、深さは、深いもので約1.7m以上のものあります。



### ⑦ 井野っ子山で発見した貝層

小規模な貝殻の堆積が発見されました。ほとんどがヤマトシジミですが、微量ながら砂浜でとれるハマグリも出土しています。



その他、コイ・フナ・ウナギ・ボラ・ハゼ・クロダイ等の魚骨、イノシシ・シカ・サル・ウサギ・タヌキ等の獣骨も出土しています。当時の人々の食生活の一端がうかがわれます。

また、大きさ数mmのカタツムリの殻も発見されていますが、その生息環境の違いから当時のムラの植生を探る手がかりとなります。

### ⑧ 小さな柱穴

小さな穴が多数密集しています。何軒もの住居が建て替えられていたようです。



### 大きな柱穴

六角形に配置された直径約1m、深さ約1.6mの大きな柱穴が発見されました。掘立柱建物の柱穴と推定していますが、柱を立てたモニュメント（記念物）だったかもしれません。直径約40cmの柱痕も確認できました。